

緑2 独立防災隊ニュース 回覧

第100号 2021年(令和3年)3月15日発行 発行人 隊長：岡本 隆久 編集人 広報部長：福澤 祥二

定期総会 3月14日(日) 19:00～ 自治会館

- ・令和2年度活動報告と会計報告、令和3年度事業計画(案)と予算(案)
⇒ 全会一致で承認されました。なお、予算(自治会助成金)については前年度より5万円減額の20万円となりました。
- ・4月1日からの役員人事(案)は一部保留となりました。
- ・福澤広報部長が、自治会総会に於いて、大場会長より緑2ホームページの管理、防災隊ニュースの作成などの貢献に対して表彰されました。
- ・「防災隊ニュース」が本号の発行をもって第100号に到達します。
⇒ 記念行事等計画することになりました。



表彰された福澤広報

器具点検と礼式訓練 3月7日(日) 9:00～ 緑が丘2丁目公園防災倉庫周辺

器具のメンテナンスと隊員のスキルアップを目的として、毎月第1日曜日に発電機、チェーンソーやD級消火ポンプなどの点検を緑が丘2丁目公園防災倉庫周辺に於いて実施しており、隊員11名が参加しました。また本日は、器具点検終了後にスポーツ広場に移動してコロナ禍で暫く中止していた、放水模擬訓練時の礼式訓練(隊員の点呼確認と隊長への報告)も実施しました。



発電機と投光器点検の様子



D級ポンプ点検の様子



礼式訓練で整列する隊員

防災まめ知識

～住宅用火災警報器 義務化10年～

近年の住宅火災による死者数の増化や今後の高齢化進展を背景として、戸建てを含むすべての住宅を対象に住宅用火災警報器の設置を義務付ける消防法の改正が行われ、相模原市では平成23年6月1日から、既存住宅を含めすべての一般住宅および共同住宅の各住戸に住宅用火災警報器の設置が義務付けられており、令和3年6月で10年が経過します。

総務省のデータによると相模原市の設置率は全国平均の82.6%を上回る94%で、防災に関する市民の意識の高さを表していると思われます。

警報器本体は感知部の汚れや部品の劣化により、正常に機能しなくなる場合がありますので、使用開始から10年を目途に新しい警報器に交換してください。



「日本火災報知機工業会」より

～緑2・独立防災隊ニュースが第100号となりました～

広報班が設置され、防災隊ニュースの第1号を発行したのが2009年9月でした。第41号からは毎月発行となり、一回の休刊もなく100号を迎えることができました。これも皆様のご支援、ご協力のお陰と厚く御礼申し上げます。また本ニュースが地域の皆様と防災隊とのコミュニケーションの一層の増進のためのツールとなれるよう取組んでまいります。